

## 第 2 章

### 都市づくりの目標（案）

（※見消し修正版）

平成 22 年 10 月 7 日（木）

第 3 回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会資料

## 第2章 都市づくりの目標

### 1. 都市の将来像

第4次斑鳩町総合計画では、まちの将来像として、本町がこれまでから掲げてきた「歴史と文化がくらしの中に息づく“新斑鳩の里”」を継承するとともに、参加と協働のまちづくりを重要なテーマとしてすすめていく方針を「ともに生き、ともに育むまち」という一節により表現しています。

これを受け、都市計画マスタープランでは、第4次斑鳩町総合計画で掲げるまちの将来像の実現にむけ、都市計画の視点から施策を実施していくこととし、都市計画マスタープランで定める都市の将来像は、第4次斑鳩町総合計画で掲げるとおり、歴史と文化がくらしの中に息づく斑鳩らしさを生かしながら、心豊かにくらせる“新斑鳩の里”を、住民と行政がともに育むまちとします。

ともに生き、ともに育むまち

歴史と文化がくらしの中に息づく “新斑鳩の里”

### 2. 都市づくりの目標

都市の将来像の実現にむけ向かって、本町が持つ豊かな歴史的・文化的資源遺産や自然環境、良好な景観を生かし、次の3つを都市づくりの目標として掲げます。

これらの目標を実現するため、都市計画の視点から施策を展開するとともに住民、事業者、行政が互いに協働して、まちづくりをすすめることにより、個性的で魅力があり、住むことに誇りを持てるまちをめざします。

#### (1) 豊かな歴史と文化を守り生かした魅力あるまち

古都として長い年月の積み重ねにより育まれてきた世界遺産を含む豊かな歴史と文化がくらしの中近くに多様に存在する本斑鳩町の独自性を生かし、斑鳩に住むことを誇りに思えるような魅力あるまちを創り出します。また、斑鳩町を訪れる人々にとっても、社寺世界遺産だけでなく、まちそのものの持つ魅力にふれるまちなか観光を充実させ、農業や商業と連携した観光の振興をはか図るまちづくりをすすめます。

#### (2) 斑鳩らしい景観とゆとりある住環境を備えたまち

矢田丘陵の山並みを背景に、田園風景の中なかに社寺や古墳が点在し、歴史的町並みや古くからの集落が一体となって形成された残る「斑鳩の里」と称される町独自の景観を保全します。また、生活基盤の整備をすすめるとともに花と緑のまちづくりに取り組むなど、定住性の高い快適でゆとりある住環境の形成をめざ

します。

(3) 自然と共に生きる環境にやさしいまち

矢田丘陵や三室山の緑、竜田川、富雄川や大和川、ため池の水辺など、斑鳩本町においては身近に豊かな自然と触れ合うことができます。こうした豊かな自然を住民と行政がともに守り育てる取組みをすすめるとともに、ごみの減量化や再資源化、バイオマスタウン構想の推進に取り組むなど、環境にやさしいくらしのできるまちづくりをすすめます。

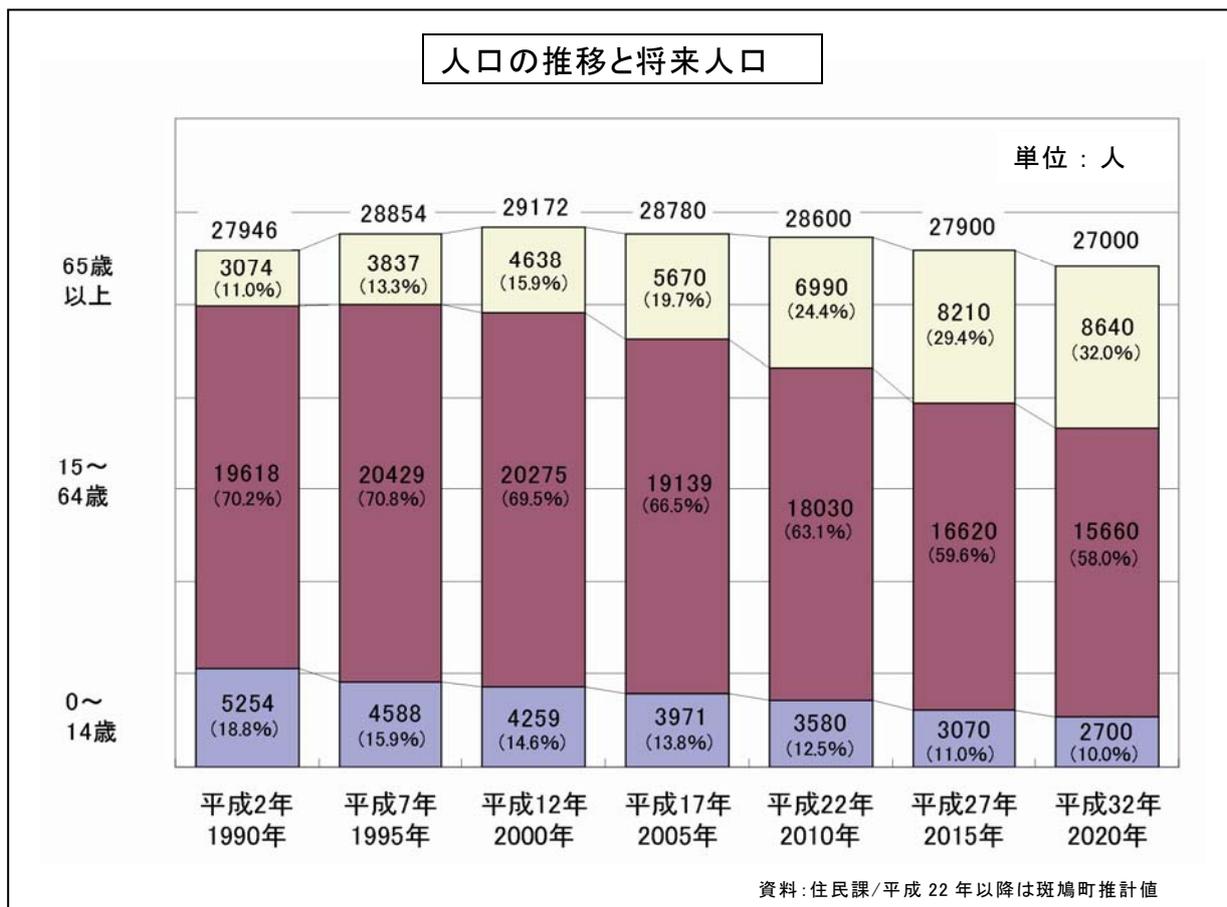
### 3. 将来人口の想定

第4次斑鳩町総合計画では、目標年次にあたる平成32年の人口を27,000人と想定しています。

本町の人口は、昭和22年に3町村が合併し、斑鳩町として発足した当時は約11,000人でしたが、昭和30年代後半からまとまった規模の住宅地の開発がすすみ、平成12年の約30,000人弱まで増加傾向が続いていました。その後は、少子高齢化の進展に伴う自然減に加え、転出が転入を上回る社会減が続き、本町の人口は緩やかな減少傾向となっています。

このような状況から、今後の人口動向については、長期的には微減傾向が続くものと予測されます。

こうしたことから、本計画の目標年次である平成32年における本町の将来人口は、第4次斑鳩町総合計画と同じく、27,000人と想定します。



## 4-2. 都市構造

都市構造とは、現状の土地利用や交通体系を踏まえて、将来の望ましい都市的な機能の配置を空間的、概念的に示すものです。

本町においては、都市づくりの目標の実現にむけ、次のように「多様で魅力ある拠点」と「拠点を結ぶネットワーク」を設定し、都市構造の充実をめざします。

### (1) 多様で魅力ある拠点

都市づくりをすすめるうえで、歴史・自然、生活・文化などの面から重要な機能を担う地区や施設を、多様で魅力ある拠点として定めます。

多様で魅力ある拠点のうち、斑鳩町の里の玄関口として多くの人が行き交い、まちの顔とも言える「JR 法隆寺駅周辺地区」および世界遺産に登録指定されている法隆寺を中心に歴史的・文化的資源遺産が集積している「法隆寺周辺地区」を、主要拠点として定めます。

また、このほかの多様で魅力ある拠点は、「歴史・自然拠点」、「生活・文化拠点」に区分し定めます。

### ●主要拠点

主要拠点については、既存施設を中心に、地区の特性を生かした都市機能の充実や環境整備をすすめます。

| 名 称                                       | 拠点に含まれる要素   | 主な都市機能                  |
|---|---|-------------------------|
| ①JR 法隆寺駅周辺<br><u>地区主要拠点</u>               | JR 法隆寺駅、駅前広場、バス停、<br>タクシー乗降場、レンタサイクル、<br>法隆寺駅北口自転車等駐車場、<br>駅前北口商店街、観光案内所                                | 交通拠点、観光拠点、<br>交流拠点、生活拠点 |
| ②法 隆 寺 周 辺<br><u>地区</u><br><u>主 要 拠 点</u> | 法隆寺とその裏山、中宮寺、<br>西里、東里の町並み<br>法隆寺門前 <u>周辺の店舗</u> 、<br>法隆寺 i センター<br>観光駐車場、レンタサイクル、<br>史跡藤ノ木古墳、斑鳩文化財センター | 歴史・文化拠点、<br>観光拠点、生活拠点   |

●歴史・自然拠点

| 名 称                  | 機 能       |
|----------------------|-----------|
| ①法輪寺周辺               | 歴 史       |
| ②法起寺周辺               | 歴 史       |
| ③史跡中宮 <u>寺地</u> 跡周辺  | 歴 史       |
| ④ふるさと上宮歴史公園          | 歴 史       |
| ⑤龍田の町並み              | 歴 史       |
| ⑥竜田川・ <u>三室山</u> 緑地  | 自 然       |
| ⑦大和川 <u>第一河川敷</u> 緑地 | 自 然       |
| ⑧斑鳩ため池周辺             | 自 然       |
| ⑨天満池・天満スポーツグラウンド     | 自 然、健康づくり |

●生活・文化拠点

| 名 称               | 機 能          |
|-------------------|--------------|
| ①斑鳩町役場            | 公共サービス       |
| ②いかるがホール・図書館      | 文化、生涯学習      |
| ③中央公民館            | 文化、生涯学習      |
| ④西公民館             | 文化、生涯学習      |
| ⑤東公民館             | 文化、生涯学習      |
| ⑥すこやか斑鳩スポーツセンター   | 健康づくり、生涯スポーツ |
| ⑦健民運動場            | 健康づくり、生涯スポーツ |
| ⑧ふれあい交流センターいきいきの里 | 福祉、健康づくり     |
| ⑨生き生きプラザ斑鳩        | 福祉、健康づくり、子育て |

(2) 拠点を結ぶネットワーク

多様で魅力ある拠点間を結ぶ道路のネットワークとして、「幹線道路」、「JR法隆寺駅と法隆寺を結ぶ道（いざないの道）」、「旧街道」、「歴史・自然散策の道」を定め、地域間の交流を促進します。



## 第 2 章

### 都市づくりの目標（案）

（ ※ 修正版 ）

平成 22 年 10 月 7 日（木）

第 3 回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会資料

## 第2章 都市づくりの目標

---

### 1. 都市の将来像

第4次斑鳩町総合計画では、まちの将来像として、本町がこれまでから掲げてきた「歴史と文化が暮らしの中に息づく“新斑鳩の里”」を継承するとともに、参加と協働のまちづくりを重要なテーマとしてすすめていく方針を「ともに生き、ともに育むまち」という一節により表現しています。

これを受け、都市計画マスタープランでは、第4次斑鳩町総合計画で掲げるまちの将来像の実現にむけ、都市計画の視点から施策を実施していくこととし、都市計画マスタープランで定める都市の将来像は、第4次斑鳩町総合計画で掲げるとおり、歴史と文化が暮らしの中に息づく斑鳩らしさを生かしながら、心豊かにくらせる“新斑鳩の里”を、住民と行政がともに育むまちとします。

ともに生き、ともに育むまち

歴史と文化が暮らしの中に息づく“新斑鳩の里”

### 2. 都市づくりの目標

都市の将来像の実現にむけ、本町が持つ豊かな歴史的・文化的資源や自然環境、良好な景観を生かし、次の3つを都市づくりの目標として掲げます。

これらの目標を実現するため、住民、事業者、行政が互いに協働して、まちづくりをすすめることにより、個性的で魅力があり、住むことに誇りを持てるまちをめざします。

#### (1) 豊かな歴史と文化を守り生かした魅力あるまち

古都として長い年月の積み重ねにより育まれてきた豊かな歴史と文化が暮らしの中に多様に存在する本町の独自性を生かし、斑鳩に住むことを誇りに思えるような魅力あるまちを創り出します。また、斑鳩町を訪れる人々にとっても、社寺だけでなく、まちそのものの持つ魅力にふれるまちなか観光を充実させ、農業や商業と連携した観光の振興をはかるまちづくりをすすめます。

#### (2) 斑鳩らしい景観とゆとりある住環境を備えたまち

矢田丘陵の山並みを背景に、田園風景の中に社寺や古墳が点在し、歴史的町並みや古くからの集落が一体となって形成された「斑鳩の里」と称される独自の景観を保全します。また、生活基盤の整備をすすめるとともに花と緑のまちづくりに取り組むなど、定住性の高い快適でゆとりある住環境の形成をめざします。

### (3) 自然と共に生きる環境にやさしいまち

矢田丘陵や三室山の緑、竜田川、富雄川や大和川、ため池の水辺など、斑鳩町においては身近に豊かな自然と触れ合うことができます。こうした豊かな自然を住民と行政がともに守り育てる取組みをすすめるとともに、ごみの減量化や再資源化、バイオマスタウン構想の推進に取り組むなど、環境にやさしいまちづくりをすすめます。

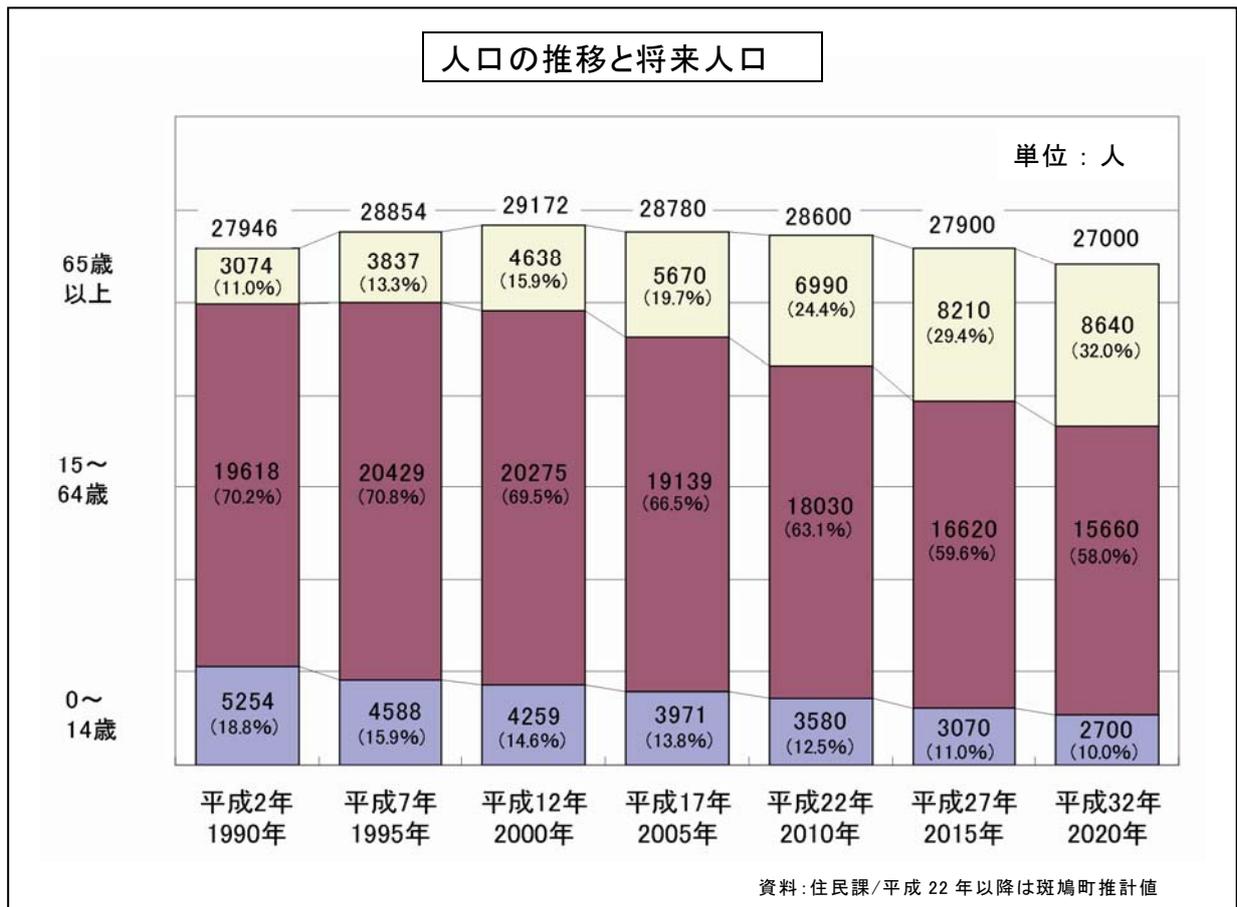
### 3. 将来人口の想定

第4次斑鳩町総合計画では、目標年次にあたる平成32年の人口を27,000人と想定しています。

本町の人口は、昭和22年に3町村が合併し、斑鳩町として発足した当時は約11,000人でしたが、昭和30年代後半からまとまった規模の住宅地の開発がすすみ、平成12年の約30,000人弱まで増加傾向が続いていました。その後は、少子高齢化の進展に伴う自然減に加え、転出が転入を上回る社会減が続き、本町の人口は緩やかな減少傾向となっています。

このような状況から、今後の人口動向については、長期的には微減傾向が続くものと予測されます。

こうしたことから、本計画の目標年次である平成32年における本町の将来人口は、第4次斑鳩町総合計画と同じく、27,000人と想定します。



## 4. 都市構造

都市構造とは、現状の土地利用や交通体系を踏まえて、将来の望ましい都市的な機能の配置を空間的、概念的に示すものです。

本町においては、都市づくりの目標の実現にむけ、次のように「多様で魅力ある拠点」と「拠点を結ぶネットワーク」を設定し、都市構造の充実をめざします。

### (1) 多様で魅力ある拠点

都市づくりをすすめるうえで、歴史・自然、生活・文化などの面から重要な機能を担う地区や施設を、多様で魅力ある拠点として定めます。

多様で魅力ある拠点のうち、斑鳩の里の玄関口として多くの人が行き交い、まちの顔とも言える「JR 法隆寺駅周辺地区」および世界遺産に登録されている法隆寺を中心に歴史的・文化的資源が集積している「法隆寺周辺地区」を、主要拠点として定めます。

また、このほかの多様で魅力ある拠点は、「歴史・自然拠点」、「生活・文化拠点」に区分し定めます。

### ●主要拠点

主要拠点については、既存施設を中心に、地区の特性を生かした都市機能の充実や環境整備をすすめます。

| 名 称              | 拠点に含まれる要素   | 主な都市機能                 |
|------------------|---|------------------------|
| ①JR 法隆寺駅周辺地区     | JR 法隆寺駅、駅前広場、バス停<br>タクシー乗降場、レンタサイクル<br>法隆寺駅北口自転車等駐車場<br>駅前北口商店街、観光案内所                       | 交通拠点、観光拠点<br>交流拠点、生活拠点 |
| ②法 隆 寺 周 辺<br>地区 | 法隆寺とその裏山、中宮寺<br>西里、東里の町並み<br>法隆寺門前周辺の店舗<br>法隆寺 i センター観光駐車場、レンタ<br>サイクル<br>史跡藤ノ木古墳、斑鳩文化財センター | 歴史・文化拠点<br>観光拠点、生活拠点   |

●歴史・自然拠点

| 名 称              | 機 能       |
|------------------|-----------|
| ①法輪寺周辺           | 歴 史       |
| ②法起寺周辺           | 歴 史       |
| ③史跡中宮寺跡周辺        | 歴 史       |
| ④ふるさと上宮歴史公園      | 歴 史       |
| ⑤龍田の町並み          | 歴 史       |
| ⑥竜田川緑地           | 自 然       |
| ⑦大和川第一緑地         | 自 然       |
| ⑧斑鳩ため池周辺         | 自 然       |
| ⑨天満池・天満スポーツグラウンド | 自 然、健康づくり |

●生活・文化拠点

| 名 称               | 機 能          |
|-------------------|--------------|
| ①斑鳩町役場            | 公共サービス       |
| ②いかるがホール・図書館      | 文化、生涯学習      |
| ③中央公民館            | 文化、生涯学習      |
| ④西公民館             | 文化、生涯学習      |
| ⑤東公民館             | 文化、生涯学習      |
| ⑥すこやか斑鳩スポーツセンター   | 健康づくり、生涯スポーツ |
| ⑦健民運動場            | 健康づくり、生涯スポーツ |
| ⑧ふれあい交流センターいきいきの里 | 福祉、健康づくり     |
| ⑨生き生きプラザ斑鳩        | 福祉、健康づくり、子育て |

(2) 拠点を結ぶネットワーク

多様で魅力ある拠点間を結ぶ道路のネットワークとして、「幹線道路」、「JR法隆寺駅と法隆寺を結ぶ道（いざないの道）」、「旧街道」、「歴史・自然散策の道」を定め、地域間の交流を促進します。

●都市構造図

